

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会	山武市教育委員会
-------	----------

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 山武市立成東小学校)

「Microsoft Teams で自分の考えや作品の共有」

メリット

- ・ 児童が自分の考えを同時に発信することができ、短時間で共有することができる。
- ・ コメント機能を使うことで、他者の考えに対しても意見を述べるができる。
- ・ 画像や作文を載せることで、読み合う活動や鑑賞会を行うことができる。ふせんなど用意しなくても、友達の作品にコメントをすることができる。



2. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 山武市立大富小学校)

「高跳びの指導における ICT 機器の活用」

メリット

【技能のポイントの確認】 (モニター: 動画視聴)

- 技能のポイントを確認しておくことで、自分の動画を見たときに、どこを見ればよいか分かりやすくなる。
- 技能のポイントと教師の手本を動画で繰り返し流し続けることができ、自分の跳び方と比較することができる。

【課題から練習を考える】 (表計算ソフトのワークシート)

- 数式やデータをあらかじめ入力しておくことで、最低限の操作で記録や課題、練習方法を整理することができる。その分、課題や練習方法を話し合う時間が増える。



3. 小学校の学習における活用方法（学校名：山武市立南郷小学校）

「図画工作科」

コマどりアニメーションの仕組みを使って、
楽しい動きや変化をつくるときの感覚や行為を
通して、動き・奥行き、バランスなどを理解した。

メリット

- ・主体的に楽しい動きや変化をつくる学習活動に取り組むことができる。
⇒1人1台端末を活用し、児童が表現したい作品を制作することができる。
- ・作品の制作途中で、細かな修正を手軽に行えた。
⇒本活動が苦手な児童も、取り組みやすい環境で学習することができた。



4. 小学校の学習における活用方法（学校名：山武市立緑海小学校）

【学習支援システムを活用した協働学習】

（総合的な学習の時間 第6学年 「鎌倉歴史発見」）

- 1 個人で調べた鎌倉市内の歴史的建造物や名所について、「気づきメモ」「グループメモ」を活用して、班別学習グループの友だち同士で、お互いの考えを共有する。
→効果的かつ効率的に、友だちの思考を可視化したり、共有したりすることができ、班別学習計画作成時の話し合いや振り返りの学び合いの場に深まりが生まれる。
- 2 班別学習グループの友だちと話し合った内容や考えを、「発表ノート」に記録・共有し、班別学習計画を立てる。
→学び得た情報や互いの考えを共有しながら、計画を練り上げることができる。
→記録された話し合いの内容に沿い、計画を立てることができる。
→計画作成時に、手書きのメモと違い、容易に計画内容の修正ができる。

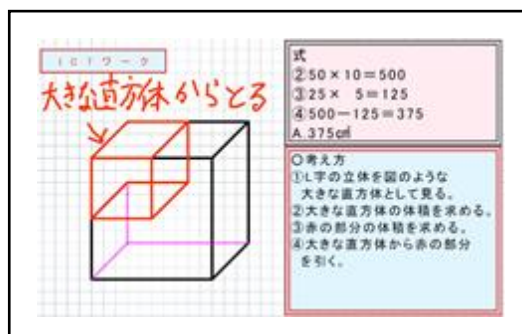


5. 小学校の学習における活用方法（学校名：山武市立鳴浜小学校）

【算数科の学習でのICTワークの活用】

メリット

- ・ 既習事項をいつでも復習できる。
⇒ 個々の習熟度に合わせた復習ができ、学習の見通しを持つことや課題解決の糸口をつかむことができるようになる。
- ・ 発表のスリム化を図る。
⇒ 簡潔で分かりやすく、全体で学びを共有できるようになる。
- ・ ICTワーク同士を紐づけすることができる。
⇒ 思考の過程を振り返りながら、自分の言葉で学習をまとめることがしやすくなる。



6. 小学校の学習における活用方法（学校名：山武市立日向小学校）

「社会科の気づきの意見を素早く共有」

メリット

- ・ 協働編集で気付いたことを1枚のページに付箋で貼り付ける。
→ 友達の意見を素早く共有することができる。
→ 意見をもつことが難しい児童の手助けになる。
- ・ 集まった意見を区別する。
→ KJ法を活用して、簡単に意見をまとめることができる。
→ 付箋の色を変えて、まとめることで色覚的に意見の違いを見ることができる。



7. 小学校の学習における活用方法（学校名：山武市立睦岡小学校）

「社会科のまとめの新聞づくりで活用」

メリット

- ・文字や絵、図をかくことが苦手な児童も、体裁のよい新聞に仕上がることで、児童が満足感を味わえる。
- ・文字や絵の上手・下手に関わらないため、社会科の見方・考え方に対する適切な評価につながる。
- ・見ごたえがあり、児童一人一人の個性があふれる新聞をつくることができる。
- ・必要に応じて印刷できるので、掲示物としても活用できる。



8. 小学校の学習における活用方法（学校名：山武市立山武北小学校）

「理科」

カタクチイワシの解剖をする際に、実物と映像を比較して、様々な部分を探した。



メリット

- ・実物と映像を横に並べて作業をしたため、探しやすかった。また、視覚的に見ることで、探しながら各部分の特徴を捉えることができた。
- 様々な理科の比較実験の際にもタブレットの活用は有効だと考えられる。

デメリット

- ・実物と映像に若干違いがあり、混乱している児童がいた。

9. 小学校の学習における活用方法（学校名：蓮沼小学校）

「カメラ機能で自分の見つけたものを保存する。」

メリット

- ・一人いくつでも保存できる。
⇒効率よく見つけていける。
- ・写真で保存するので、誰にでも自分の見つけたものを紹介できる。
⇒発表などは写真を提示しながらできる。
- ・一度保存すれば、授業の振り返りの時にも活用できる。
⇒授業ごと、単元ごとの振り返りが容易にできるので、知識の定着にも有効である。



10. 小学校の学習における活用方法（学校名：山武市立大平小学校）

「社会科の資料提示として活用」

メリット

- ・児童が資料をノートへ貼り付けたり、裁断したりする作業がいらぬ。
⇒自力解決やグループ活動などの時間の確保ができる。手先が不器用な児童への配慮にもつながる。
- ・カラー、拡大、書き込み、訂正が可能なデータを提示することができる。
⇒児童が活用しやすい方法を選択し、活動することができる。
- ・追加資料を即時提示することが可能。
⇒授業中に追加したい資料を臨機応変に提示、配付することができる。
- ・グループ活動で資料を共有しやすい。
⇒資料がデータであるため、メンバー間やグループ間で送り合うなど、資料の共有ができる。
- ・教師と児童でデータの共有ができる。
⇒テレビ画面に同じ資料を提示することにより、児童と情報共有ができる。
- ・教員側の準備時間、資源消費の削減につながる。
⇒印刷、裁断の必要がなく、短時間で準備ができることに加え、印刷にかかる費用を抑えることができる。

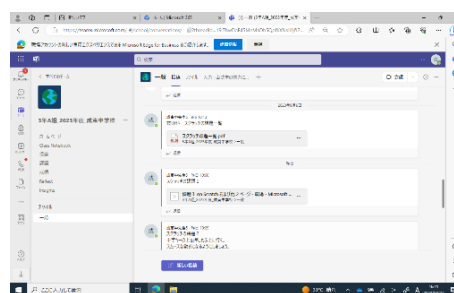


1 1. 中学校の学習における活用方法（学校名：山武市立成東中学校）

「プログラミングの課題をすぐに確認できる」

メリット

- 課題の内容がいつでも動画で確認できる。
⇒「課題の正しい動きがわからない」といった生徒がすぐに自分だけで確認できる。
- Microsoft Teams を活用し、課題一覧などを投稿することで、欠席した生徒や不登校の生徒でも参加できる。また、配信忘れがない。
- プログラムの中身を画像にして投稿することで、簡単に共有することができる。
⇒一人一人が考えているプログラムをすぐに共有できる。
- ホワイトボードアプリを使って意見を視覚的にまとめることができる。



1 2. 中学校の学習における活用方法（学校名：山武市立成東東中学校）

○Web 会議システムの活用

→ 体調不良等で授業に参加できない生徒が、相互通信を活用することで、授業に参加できるようになる。

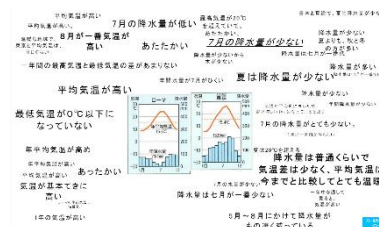
○Microsoft Teams の活用（課題提出がスムーズに）

→ オンライン上で課題のやり取りができるため、提出する手間が少し軽減される。なくす心配もなく、予備等の準備もしなくてよくなる。



○デジタル教科書の活用

→ 発音がわからない単語を聴いたり、本文の状況（内容）把握のために動画を見て確認したりすることができる。



○授業での意見交換に活用

→ 新たな気付きや発展、議論が進みやすくなる。

1 3. 中学校の学習における活用方法（学校名：山武市立成東東中学校）

～Forms ドリル～ 〈各教科〉

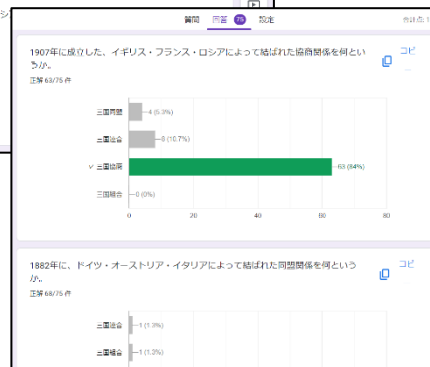
①Microsoft Forms・Google Forms で、一問一答形式や記述形式の問題を作成する。

②Forms の URL を二次元コード化してタブレットやスマートフォンで読みとれるようにする。

※生徒は学校での休み時間や、自宅での学習時間など、好きなときに好きなだけ問題演習に取り組める。

③生徒の回答データが集まるので、それをもとに誤答の傾向等を分析する。

（右）社会科で作成した「歴史ドリル」。単元ごとに15問程度の問題を作成。一問一答版と記述版の2種類を用意した。生徒には、QRを紙面に一覧としてまとめ配



（上・右）実際の問題と、回答集計の画面